

令和5年度 教育厚生委員行政視察報告書

令和5年10月31日

行先 兵庫県洲本市、神河町、加西市、姫路市
日程 令和5年10月17日(火)～19日(木) 2泊3日
参加者 三田忠男 永岡康司 青木靖 鈴木正人 間野みどり 鈴木優治 飯田大 小川多美子
事務局・小野竜太郎 企画財政課・太田成一

1日目：再生可能エネルギー施設整備【ウェルネスパーク五色】 兵庫県洲本市

瀬戸内海国立公園 淡路島にあり、大自然の中で、家族、仲間と楽しく過ごそう！をコンセプトに、広大な敷地の中にはキャンプ場やログハウス、温泉施設やレストラン、手づくり工房体験、体験農園などその他いろいろ、泊まる、食べる、学ぶなど瀬戸内海の穏やかな海や島を見ながら楽しい思い出づくりの出来る施設ではないかと思いました。

私は洲本市の ①菜の花・向日葵のエコプロジェクトについて ②竹チップボイラーの導入効果や放置竹林について関心がありました。

① については採取した油は食用油として利用する。子ども達の体験教材に敵しているが連作障害があり困っている。

②について燃料としての竹が不足することはないかとの質問に、現在の設備機械では竹が不足するほどの容量の設備ではないので充分間に合っているとのことでした。山から切り出し太さや長さを揃え乾燥させて更に細かくしてからでないと機械に掛けられないとのこと燃料として使うまでには相当の労力が掛かり実用化するには大変なことだと思いました。

燃料としてではなく食用にメンマを作っているという話を聞きましたので詳しく知りたかったのですが説明をしてくれた担当の方はよくわからないからと断られてしまいました。残念！

ここでも鹿や猪の被害対策に苦慮しているとのことでした。

2日目：廃校になった跡地利用【Resort によん in 神河】 兵庫県神河町

小学校統合により廃校になった校舎を福祉施設として利用している。建物内部はここが今まで学校として使われていたかと思うほど綺麗にリニューアルされ、各部屋広々とした一人部屋でトイレ、洗面所、クローゼットも広くて使いやすさを感じました。浴室は備わっている部屋あり、なしもあり、ご夫婦2人で利用できる部屋もありました。食事は近くのスーパーで1年中朝、昼、晩3食届けてくれるそうです。

隣接した建物にはデイケアの施設があり外部からの利用者は勿論、宿泊者の利用も可能だということで、外に出ることなく廊下伝いに行くことが出来るので部屋の中ばかりにいる利用者には喜ばれ、部屋はいつでも空室になることのない状態のようです。

廃校の再利用ですので勿論体育館もあり、グラウンドも含めて地域の方にも利用して頂き地域の方達との交流も行っているとのことでした。

山の中の静かな場所で居心地良さそうにも思えますが、今まで住み慣れた家とはちがひ、落ち着きはすると同時に寂しさもあるのではと思いました。

2日目：ただのまち河西の無料子育ての応援【多様な暮らし 夢が叶う「未来の田舎」】 加西市

子育て世代にやさしいまち河西市では子育て応援として5つの無料化というメニュー(保育料、給食、こども医療費、オムツ等、病児・病後児保育)などがありますが、これは近くの明石市を参考にしたもので5つというのは特別な理由はないとのこと。しかし『ただのまち』というのはなかなかインパクトがあり、スマホやパソコンで画面検索をする人も多くいると思います。面白いネーミングだと思いました。また昼食で寄ったショッピングモールには加西市の様々なパンフレットを置いてありました。市役所をお願いして置かせて頂いているとのことですが食事をしながら見て家に帰ってからゆっくり見ることも出来、勿論子育てハンドブック5つの無料化の冊子もありました。いいアイデアだと思いました。動画の配信もされているようで再生回数14万回だということ。

ただだから人は集まるのではなくただであってもなくても、いい物、良いところに人は魅力を感じて集まってくるのではないのでしょうか。伊豆市の魅力は何でしょうか。考えさせられますね。

3 日目：文化財の展示・管理・姫路城におけるガイド 姫路市立美術館 兵庫県姫路市

姫路市立美術館は赤煉瓦の美術館として親しまれ戦前は陸軍の施設として、戦後は姫路市役所として長く使われ 1983 年に市立美術館として開館されました。2003 年にはその外観保存と活用実績が評価され国の登録有形文化財に認定されました。外観の赤煉瓦の後ろには堂々たる白鷺城を仰ぎ見、前には広い芝生の庭園が広がり、建物の中に入らずとも四阿や木陰でのんびり、ゆったりとした時間を過ごすことが出来そうです。中に入ると石造りの重々しい雰囲気と広い空間、素晴らしいところだとは思いつつ、伊豆市にはこのような美術館は合いそうでないな等一人で思い考えながら美術館を後にしました。

今回の視察予定には入っていませんでしたがバスのドライバーさんが、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と野島断層の保存館に寄ってくれました。この地震は活断層である野島断層が動いたことにより起き、断層による地面のズレは北丹町（現淡路市内）内に 10 km に亘って現れたと言うことです。小倉地区では道路や畑の畦、生け垣のズレなどの断層による様々な地形の変化が野島断層保存館として残され、地震のエネルギー大きさと自然の驚異を伝えています。

あれから 30 年も経った今でも私の脳裏にはあの時の恐ろしい記憶は残っていますが今回当時の爪痕を現実の物として見たとき受け入れがたい衝撃を受けました。

予定外のコースを回ってくれたドライバーさんに感謝です。

以上

小川多美子